

## 京都大学人文科学研究所国際研究ミーティング実施報告書

### 1. 国際研究ミーティングの名称

European Crisis in Historical Perspectives

### 2. 主宰責任者氏名

Serena Ferente(ロンドン大学キングズ・カレッジ准教授)

### 3. 開催日時等およびプログラム(講演者名または報告者名を明記してください)

日時:2020年3月18日 15:00~18:00

場所:京都大学人文科学研究所本館3階セミナー室4

演題、講演者:小関 隆(人文研教授)'The End of 'Post-wars' Europe?'

Serena Ferente(ロンドン大学キングズ・カレッジ准教授)'An Archaeology of populism'

### 4. 概要(400字程度)

ミーティングの趣旨は、現在のヨーロッパをめぐる危機的状況(ブレクシット、ポピュリズム、難民、等)を理解するうえで歴史的な知見がいかなる意味をもつのか、を検討することにある。小関報告は、20世紀ヨーロッパの複合的「戦後」のコンテキストにブレクシットに至る政治潮流を位置づけ、Ferente報告は、古代ローマにまで遡って **people** ということばが政治的言説の中でいかに使われてきたかを検討した。なお、当初予定されていたもう1人の講演者(八谷舞・東京大学助教)はコロナウィルス流行への配慮から、参加を取りやめた。2つの報告につづく全体討論では、とりわけ **people** 概念およびその具現化をめぐって、活発なやりとりがあった。

### 5. 参加者(別紙「参加状況」も記載してください。)

#### ①学外

酒井朋子(神戸大学准教授)、春日あゆか(広島大学准教授)、奥田伸子(名古屋市立大学教授)、今井貴子(成蹊大学教授)、三輪真弘(情報科学芸術大学院大学学長)、等

#### 学内

金澤周作(文学研究科教授)、等

#### 所内

岡田暁生、藤原辰史、伊藤順二、瀬戸口明久

### 6. 助成金の使途等

使用せず(東京からの講演者の招聘がなくなったため)

### 7. その他(成果や今後の展開等、自由に記載してください)

ロンドン大学キングズ・カレッジはイギリスを代表する研究機関であり、今後人文研との間で有意義な協力関係が構築されるものと期待できる。

## 参加状況

区分	機関数	参加人数					延べ人数				
		総計	外国人	40歳未満	35歳以下	大学院生	総計	外国人	40歳未満	35歳以下	大学院生
学内(法人内)		9 (5)	1 (1)	3 (2)	2 (1)	2 (1)	( )	( )	( )	( )	( )
国立大学		3 (2)	0 (0)	2 (1)	1 (1)	0 (0)	( )	( )	( )	( )	( )
公立大学		2 (1)	0 ( )	0 ( )	0 (0)	0 ( )	( )	( )	( )	( )	( )
私立大学		3 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	( )	( )	( )	( )	( )
大学共同利用機関法人		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
独立行政法人等公的研究機関		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
民間機関		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
外国機関		1 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	( )	( )	( )	( )	( )
その他		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
計		18 (10)	1 (1)	6 (4)	4 (2)	2 (1)	( )	( )	( )	( )	( )

※( )内には、女性数を記載

※受入機関、受入人数、延べ人数を区分に応じて記入してください。

※外国人、若手研究者(40歳未満)、若手研究者(35歳以下)、大学院生の人数はそれぞれ受入人数、延べ人数に対しての内数を記入してください。

※受入人数、延べ人数については上段に総数を下段に( )で女性の内数を記入してください。

※「学内」の所属機関数は「学部数」等を記入してください。

※受入人数及び延べ人数の算出方法は、以下の例に基づき算出してください

国際研究ミーティングに参加者2人が3回参加した:受入人数2人、延べ人数6人